

～クマの出没情報をリアルタイムで通知～

被害を未然に防ぐ！クマ検知 AI カメラソリューション

フェイス ベア

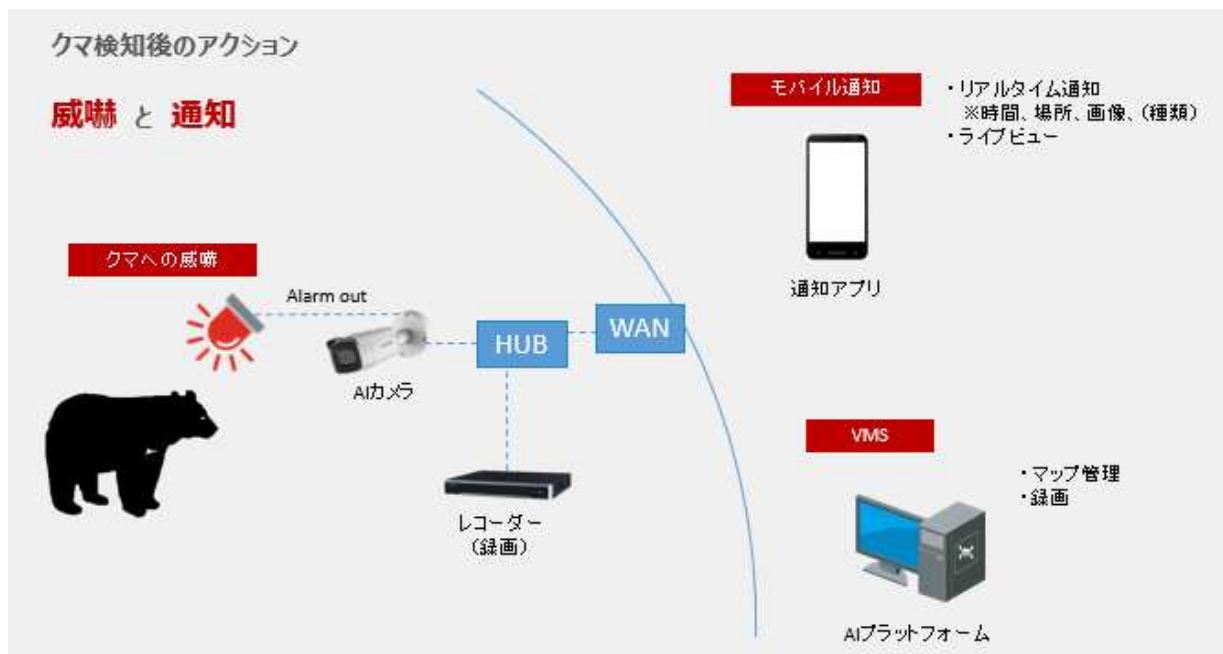
Face Bearの開発に着手

ダイワ通信株式会社(本社:石川県金沢市、代表取締役:岩本秀成)は、AI 認識サーバーと防犯カメラを組み合わせることによる、クマ検知 AI カメラソリューションの開発に着手しました。

昨今、クマによる被害のニュースが多く見受けられる中、石川県では出没警戒情報が発出され、目撃情報は過去最多の703件(11月10日時点)となっています。原因は、クマの餌となる木の実が不作なためと言われてはいますが、これにより、山間部だけでなく、今まで目撃されたことがない住宅地にまでクマが出没する可能性が高まっています。このような現状を踏まえ、新型コロナウイルスの影響で、遅らせていた本プロジェクトの開発スケジュールを急遽見直し、開発に着手しました。

石川県立大学環境科学科の大井徹教授にご協力いただき、クマの画像データおよび動きの特徴が分かるデータを収集し、AI に学習させることでクマの識別を可能とした独自のアルゴリズムを作成し、クマを検知すると同時に即時通知を送る監視システムを開発します。クマが出没した地域の自治体および住民にモバイルアプリを通じてリアルタイムで通知します。

大井教授コメント:「クマの分布の拡大に伴ってクマによる人身被害は年々増加しています。クマの検知・監視システム Face Bear が、被害を未然に防ぐ有用な手段になること、期待しています。」



今後は、来春のリリースに向けて各自治体や有識者と協議し、実証実験を重ねて参ります。

また、今後開発するデバイスは、ダイワ通信が、デバイスの提供から設置、保守サポートまで一貫した導入サービスを提供する予定です

【お問い合わせ先】

ダイワ通信(株) セキュリティ事業部

TEL:076-291-4001

ホームページ: <http://www.daiwawa.com>

※会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。 ※仕様は改良の為、予告なく変更する場合があります。